

「受けたい教育がある南丹市」を目指して

令和6年度も残り僅かとなりました。今年も、南丹市の教育行政推進にご理解とご協力をいただきありがとうございます。また、PTA活動や学校運営協議会活動などを通して、各小中学校教育をお支えいただきありがとうございます。お陰を持ちまして、各校が子どものための様々な教育実践をこの一年間に行うことができました。ありがとうございました。

さて、今年度は「こども家庭センター」を新たに設置し、全国でもあまり例がありませんが教育委員会所管としました。この組織改変のねらいは、教育・保育・保健分野が切れ目なく連携し、「こどもまんなか」の視点で一体的支援施策を展開したいと考えたからです。

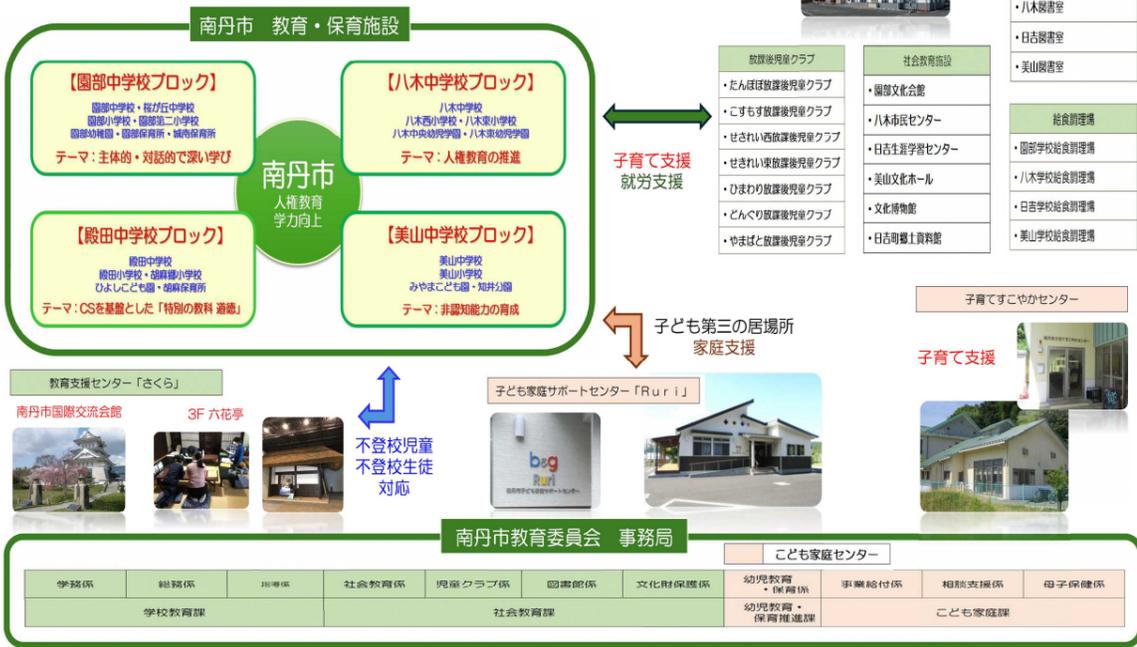
そして、「受けたい教育がある南丹市」を目指して2年が終わろうとしています。昨年度は、南丹市の強みと弱みを分析して教育行政の方向性を示し、幾つかの事業に取り掛かりました。今年度は、各事業の内容を更に充実させ、「不登校児童生徒等の早期発見・早期支援事業」などの新たな事業にも取り組んでまいりました（詳しくは、【動画】「受けたい教育のある南丹市」をめざして・【動画】「不登校児童生徒等の早期発見・早期支援事業」をご覧ください）。

また、幾つかの企業から南丹市の教育の充実に使って欲しいと、多額の「企業版ふるさと納税」をしていただきました。これまでの「企業版ふるさと納税」で、各校吹奏楽部の楽器、放課後児童クラブのネットワーク機器、タブレット端末用タッチペン（来年度より）や衛星電話等が教育現場に入り、教育環境の充実と安心安全な環境づくりを進めることができました。

今後は、このような温かな南丹市に対するご支援を基に、南丹市版「保育・教育は環境からプロジェクト」を企画し、更に「受けたい教育がある南丹市」を目指していきたく考えています。

南丹市教育委員会 教育長 國府 常芳

誰一人取り残さずことのない南丹市の教育



就学前教育における読書環境整備



園部幼稚園

八木中央幼稚園

「受けたい教育のある南丹市」をめざして



YouTube アップロード動画（限定公開）
<https://youtu.be/UilD6BpXVrQ>
（約 50 分）



不登校児童生徒等の早期発見
・早期支援事業報告
<https://youtu.be/l1T5wYw63Dlw>
（約 15 分）



◇各幼稚園・小学校・中学校における特色ある取り組み◇

園部幼稚園



～異年齢のかかわりを通して～

毎年、地域の方にお世話になってサツマイモの栽培体験をさせていただいています。お礼の気持ちを込めて、年長児がお芋屋さんを開店してくれました。「来てくれてありがとう」「熱いから気を付けてね」と地域の方や小さい組さんに合わせてやり取りをし、美味しい焼き芋のお芋を振る舞ってくれました。計画から片付けまでクラスの友達と協力してやり遂げた経験は5歳児にとって大きな自信となったようです。そんな姿からいつも刺激をもらっている3・4歳児は自分たちもやりたいとクラスでの焼き芋パーティーを開催。異年齢での交流が育ち合いにつながっています。

八木中央幼稚園



～伝承遊び・たこたこあがれ！～

本園では、毎年、コマ回し、カルタ遊び等伝承遊びができる環境を作っています。今年も、3～5歳児が凧作りに興味をもち始めました。特に5歳児は友だちが作っている様子に心が動き「僕も作ってみたい！」「こんな形にしようかな？」「こうしたらもっと飛ぶかな？」と園庭に飛ばしに行き、その後、再び保育室に戻ってきては手直しをし、繰り返し考えたり工夫したりしながら凧作りを楽しんでいました。心と体を十分動かし、五感を通して感じ取る、豊かな体験を大切にしています。

園部小学校



キzzaニアでの職業体験などキャリア教育の様子

「将来の見通しが持てず夢が語れない」「自分の可能性を信じてチャレンジする力が弱い」といった児童の実態から、学校運営協議会の力を得ながらキャリア教育に力を入れてきました。特に6年生では、スポーツ分野、医療福祉関係や美容関係といった様々な分野の方に話をいただき、生の声を聞くことで、児童は具体的なイメージを持って学習を進めてきました。こういった活動が認められ、本年度にキャリア教育についての文部科学大臣表彰を受賞することとなりました。子どもたちが自分の可能性を信じ、将来に夢と希望が持てるように、今後もキャリア教育の充実を図っていきます。

園部第二小学校



キャリア教育と大西井堰見学の様子

本校の6年生は、総合的な学習の時間に、地域や保護者の方にお世話になり、キャリア教育に取り組みました。また、4年生は、地域の方々にお世話になり、校区の大西井堰を見学することができました。いずれも、学校運営協議会における熟議を通して実現したものであり、地域総がかりの教育を進めているところです。子ども達は、「ふるさと」の人々と触れ合うことを通して、ふるさとについてよく知り、親しみ、自ら関わろうとする「ふるさとを愛する心」を大きくしています。

八木西小学校



「レッツゴーSDGs」の様子

本校では、郷土を素材とした体験的な活動を通して協働して探究活動に取り組む学習を、HOMETOWN教育と位置付けています。

5年生では、「レッツゴーSDGs」をテーマにして「米作り」をキーワードに、総合的な学習の時間と社会科や理科とを関連させた学びをしてきました。育苗から精米までほぼ全ての工程をされる地域の方やしめ縄名人の方から体験を交えて学ぶことで、食料生産や自然環境について考えるとともに八木町のよさを実感しました。

自分が生まれ育った地域、人々のつながりを学び、郷土愛を育むことができるよう取り組んでいます。

八木東小学校



『コミュニケーションタイム』を楽しむ子どもたち

本校では、今年度から月1回、「コミュニケーションタイム」を実施しています。この取組を通して、自分の考えや思いを伝えたり、相手の考えや思いを聴いたりする力を培うこと、仲間とのつながりを深め、それぞれの考えや思いを受け止め、共感し合える集団を作ることを目指しています。

ペアやグループで行う「質問ジャンケン」や「アドジャン」など、簡単なゲームを通して、友達との共通点や新しい一面に出会えたことに、児童は喜びを感じています。今後も、楽しみながら、コミュニケーションの力や仲間同士のつながりを育んでいきます。

殿田小学校



ひよして育ち、学び、ひよしを元気にする「田原川クリーン作戦」

本校では、6年生が総合的な学習の時間で「日吉地域の環境」について取り組んでいます。

「ふるさと日吉の川をきれいにするにはどうすればいいか」という課題を解決するために、全校児童、保護者や地域の皆様、地元企業である南丹清掃、関係諸機関等に協力を呼びかけ、12月に学校前の田原川クリーン作戦を行いました。

今年度で3年目のこの取組ですが、環境について地域社会と連携しながら継続的に環境美化に取り組んできたことが評価され、「第25回環境美化教育優良校」に選ばれました。

胡麻郷小学校



読み聞かせを聞く年長児さん

本校が取り組んでいる読書活動の推進について紹介します。

保小接続の一環として、9月から胡麻郷保育所の年長児が月1回来校し、各学年の学習を見学したり体験したりしています。その際に学校図書室に入室し、ことばの育成支援員による絵本の読み聞かせや、保育所に持ち帰って読む本の貸出を行っています。

当初は慣れない様子でしたが、回数を重ねる毎に選書もスムーズになるようになってきています。休み時間には、本校児童が優しく関わる姿も見られ、同時に児童自身が本に触れる機会も増えています。図書室が活気に満ち溢れる時間となっています。

美山小学校



グループごとに行った児童・地域・保護者による熱い熟議

本校5・6年生は「10年後の美山に残したいもの」をテーマに総合的な学習の時間の学びを進めています。

各自が考えた「残したいもの」ごとにグループを作って調べ学習を進め、自分たちなりの解決策を学習発表会で発表したところ、地域や保護者から「一緒に考えたい。コラボしたい。」という声が上がってきました。

これを受け、子どもたちの意見、学校運営協議会での協議を経ながら1月に「大人と子どもが美山について本気で語り合う熟議」を開催しました。

美山を愛する子どもたちの地域課題に対する当事者意識を更に高める機会となりました。

園部中学校



子ども未来塾、道の駅、摩気地域文化祭、子ひつじの苑で地域貢献活動をしました。

生徒会は本年度より「地域貢献」をテーマに取組を進めています。

園部町内の事業所や施設からの協力依頼があった際に、ボランティア活動として積極的に参加し、地域貢献活動に取り組んでいます。

この活動を通して多くの方と関わり、社会性をバランス良く養ってほしいと考えています。

地域のための活動ですが、実際には中学生にとって貴重な体験と学びの場となっています。社会の一員として、主体的に諸活動に参画できるよう、地域の皆様の協力もいただきながら「地域でも活躍する園中生」を目指したいと思えます。

八木中学校



地域に学ぶ・地域と繋がる講演会

学校運営協議会の取組の1つとして、八木町にゆかりのある様々な方を講師に迎え、11月に「地域に学ぶ・地域と繋がる講演会」を実施しました。

第1回目は日本舞踊の家元である川勝さんにご協力いただき、八木音頭盆踊りを通して八木町の文化と伝統に触れました。

第2回目は、紙芝居一座を本校に迎え、紙芝居を通して八木町にまつわる歴史を学びました。

このような取組により、学校運営協議会とともに目指している「八木の町を愛する“心優しい子ども”」の育成に今後とも努めてまいります。

殿田中学校

第19回 家庭学習時間調べトップ10
令和7年1月6日～1月13日

順位	学年	時間	順位	学年	時間
1位	3年3	23.4	6位	1年生	17.0
2位	3年3	22.1	7位	3年3	17.0
3位	3年3	20.5	8位	3年3	16.5
4位	2年生	19.0	9位	2年3	15.2
5位	3年3	18.5	10位	2年3	12.3

家庭学習時間各週のトップ10

殿田中学校では、町内のこども園・保育所・小学校とともに、家庭学習に意欲的に取り組む生徒の育成を目指して研究しています。

学校で学習した内容を自分のものとして定着させるためには、家庭での学習（演習）が必要です。授業とのつながりを大切にした課題の提示、情報機器に勝つ魅力的な課題の提示、頑張ったら自分の力が伸びたと実感できる検定への挑戦など、今後も引き続き町全体で取り組み、自ら学ぶ生徒たちを育成し、その力を伸ばしていきたいと思えます。

美山中学校



心を通い合わせた文化交流が学びを深めます

本校では、地域からの協力を受けて、たくさんの教育活動を行いました。その中のひとつに、オーストラリアからの交流生を迎えて国際交流の機会を持ちました。

着物が着たいという要望に、全校生徒で21名に浴衣の着付けを行えば、それだけで互いの距離感は親密に。英語や国語の授業でも、ネイティブな英語と学習成果を発揮した英語が飛び交っていました。

2月にはデンマークからの交流生も迎え、国際感覚を養う学習の充実に努めています。

桜が丘中学校



花いっぱい運動の様子

桜が丘中学校では、地域の方々のご協力のもと「花いっぱい運動」を毎年2回行っています。この活動は生徒自らが、花を植え育てる体験活動を通じた学校環境作りの1つで、この活動を通じて、自他への思いやりの心を醸成する機会と、協力していただいた方々との出会いの場にもなっています。

今年は、6月にはひまわりの種を、12月にはパンジーの花を植えました。当日は地域の方々からのアドバイスを参考に、皆で協力しながら取組を行う姿がありました。ご協力いただきました地域の皆様、ありがとうございました。